

熊本県立御船高等学校

創立九十周年記念事業募金趣意書

謹啓、仲秋の候、皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

本校は、大正十一年四月、旧制御船中学校として開校し、いよいよ平成二十三年には創立九十周年の記念すべき年を迎えることとなりました。

その間、昭和二十三年の学制改革により、御船町立御船高等女学校が併合され、男女共学の新制熊本県立御船高等学校として新たな出発をいたしました。さらに、昭和三十八年には時代の要請に対応した機械科・電気科が新設され、その後昭和六十一年に電子機械科へ改編、平成十五年には芸術コース(美術・書道・音楽)の導入と幾多の変遷を辿りながら九十年に亘る確固たる歴史と伝統を築いてきました。

本年(平成二十二年)実施された県立高等学校の再編計画においても、本校は上益城地方の重要な拠点校として改めてその存在意義が確認されました。

幸い、本校はここ数代の学校長の絶大なリーダーシップにより、学業は勿論、文化・科学・スポーツの面で生徒たちの活躍が目覚しく、特に全国高等学校の頂点に立ち続けるマインコン制御部ロボット班の活躍は、全国に母校の名声を轟かせています。

このような母校の大躍進は学校や育友会の指導の成果によりますが、近年とみに活性化が進む同窓会の存在も見逃せません。

この度、創立九十周年を迎える事ができるのも、ひとえに地域の方々や同窓生、諸先生、関係各位の温かい御理解と御支援のおかげと心から有り難く厚く御礼を申し上げますとともに、本校を築き育ててこられた先人、先輩の残した輝かしい歴史と伝統を継承しつつ、時々の新しい風を吹き込んで有為な人材を育てていかなければなりません。

九十周年は御船高校の百周年に向けての第一歩、更なる発展を遂げる節目と考えます。

この記念すべき年に記念式典・行事、記念事業を行うことは、九十年の歴史を育んだ文武両道の建学の精神と、その足跡をたどることになり、生徒たちに誇りと希望を与え、今世紀の母校の躍進を図る絶好の機会です。ここに同窓会、育友会、学校が三者一体となり、平成二十三年十月七日に記念式典を行うとともに、別紙のとおり、「創立九十周年記念事業」を計画いたしましたので関係各位のご賛同と募金への絶大なる御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

平成二十二年十月吉日

熊本県立御船高等学校

創立九十周年記念事業実行委員会

会長	同窓会会長	嶋田 英剛
副会長	育友会会長	田上 忍
副会長	学校長	小林 博
他実行委員一同		